

第 35 回ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動) 12 月 23 日に実施しました



今年のテーマは「栄養不良から 小さな命を守ろう」
世界では、年間約 310 万人の子どもが貧困による栄養不良で命を落としています。1 億 6500 万人もが乳幼児期の栄養が足りず、健全な成長が阻まれています。世界の危機に瀕している子どもたちを守り、幸せな未来を実現するため、“手と手をつなぐ”ハンド・イン・ハンド募金キャンペーンを展開し、より多くの方に世界の現状を知っていただき、ユニセフの活動を支援していただきたいと訴えました。40 名余の参加で募金活動を行いました。一般の方々や小学生も大勢参加してくださり、師走の街を行きかう人々に元気な声で募金を呼びかけました。1 時間半の活動でしたが、81,665 円の募金が寄せられました。半分をフィリピン台風緊急募金として、半分は開発途上国の子どもたちへの支援活動に役立てられます。



フィリピン台風緊急募金への取り組み

11 月 8 日にフィリピン中部を襲った台風の被害がとても大きく、学校・団体・企業様が緊急募金活動に取り組まれています。みやぎ生協では、店舗に専用の募金箱を設置し募金協力を呼びかけ、共同購入では注文書に募金欄を設けて呼びかけました。職場での協力も緊急に行われています。(株)パスコ様から社員のみなさまのご協力による募金 174,000 円をお預かりしました。



日本労働組合総連合会宮城県連合会様より 300,000 円、宮城県労働者福祉協議会様より 200,000 円の募金をお預かりしました。東日本大震災で被災した野蒜小学校の児童のみなさんからは、84,712 円が寄せられました。とても『重い』募金を預かってきました。ユニセフが現地で行う支援活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

出前講座がたくさん開催されました …… 講師派遣を行っています。学習会を開催しませんか？

10 月から 11 月にかけてたくさん出前講座の依頼があり、ボランティアさんが大活躍しました。根白石中学校(仙台)、仙台白百合学年中学校、清滝小学校(大崎)、岩沼西中学校、聖ドミニコ学院小学校、丸森町生涯学習課「はつらつ学園」に講師派遣を行い、それぞれの学校等からの要望に応え、



ユニセフの活動内容や世界の子どもたちが置かれている現状を理解していただけるよう、学習に工夫を凝らしました。小学校 1 年生から対応しています。写真や映像を使っての説明や、さまざまな体験学習を取り入れています。みやぎ生協の委員会主催の“UNICafe”にも出向きました。(松島店、大富店、桜ヶ丘店)

2013 年度第 2 回理事会が、12 月 10 日に開催されました。事業経過報告、次年度の事業計画案など、理事の皆さまにご協議いただきました。ユニセフが世界の子どもたちの支援にあたることのできるのには、国内委員会(日本ユニセフ協会)と協力協定を結んで活動する各道府県の協会の理事会・評議員会がきちんと機能し、活動を支えてくださっているからです。ユニセフの新年度は 1 月です。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。